令和 5 年5月 比美乃江小学校 図書だより

「春の読書週間」ファミリー読書かんそうめん しょうかい 感想文を紹介します!

「馨のこども読書週間」の期間中に「ひみのえファミリー読書」に取り組んでいただき、ありがとうございました。家族で一緒に読書を楽しむことで、とても有意義な時間を過ごしていただけたのではないでしょうか。これからもぜひ親子で読書を楽しんでみてください。

ことではたちとお家の方から、心温まる感想をたくさんお寄せいただきました。その中から、いくつかをご紹介します。



7年生

ゆうなちゃんにお友だちができてわたしもうれしくなりました。

(「きょう、おともだちができたの」)

- だいくさんが作ったゆうぐが楽しそうで、わたしもあそんでみたくなりました。
 - (「どんぐりむらのだいくさん」)
- おかあさんといっしょになぞなぞをして楽しかったです。(「すみっコぐらしナゾトレいっぱい」)
- •「ゆきおとこ」ってほんとうにいるのかなぁ?と、ふしぎにおもいました。
 - (「おしりたんてい ププッゆきやまのしろいかいぶつ!?」)
- ・ともだちとけんかをしても、ごめんねと芸えるようになりたいです。(「ごめんねともだち」)
- ・エルサみたいに、やさしくてつよいがの子になりたいです。(「アナと雪の安全2」)

お家の芳:ファミリー読書の感想より

- ・ 字どもが首分で選んできた歌を一緒に読んで、 装罐ともこんな風に譜しているのかなという のを知る機会になってよかったです。
- ・一冊の本を家族みんなで共有し、ゆったりとした時間を過ごすことができてよかったです。
- ・毎日本を読み聞かせしていますが、懲忍を聞くことはなかったので新鮮でした。
- ・子どもが感想文を学校に出すからと、丁寧な言葉に管していた。数に成長を感じました。
- ・一緒に読んだ茶の内容で私も知らないことが書かれており、子どもと二人で共感することができて、有意義な時間になりました。
- 100ページ以上もある本を黙した読んでいる姿に感心しました。
- う後も週に一回でも子どもたちと一緒に本を読む時間を作っていきたいと思いました。
- 親子で一緒に読書を築しむことを遠して、これからもますます茶を好きになってほしいなと 思います。

子ども:本の感想文より

2年生

- ・さいしょは元気なこうちょうせんせいが、大きな声も出せなくなってしまうのがかわいそうでした。 (「くまのこうちょうせんせい」)
- ・養べものの大切さが分かり、ぼくも野菜は残さず養べるようにしたいと思いました。

(「ドラえもん社会ワールド 日本と国際社会」)

- 自分の名前には願いがいっぱい込められていることが分かりました。(「しげちゃん」)
- ・スイミーがいっしょうけんめい。

 ・スイミーがいっしょうけんめい。

 ぎえてみんなを助けたところがすごいと

 説いました。

 (「スィミー」)
- ・ひとりでおつかいに $\stackrel{\sim}{\leftarrow}$ ったことに $\stackrel{\sim}{\otimes}$ 動しました。わたしも $\stackrel{\circ}{\leftarrow}$ 人でおつかいしてみたいです。

(「はじめてのおつかい」)

みんなで手をつなげば、心まで湿かくなるのだと思いました。(「てぶくろ」)

お家の芳:ファミリー読書の懲想より

- ・読み聞かせするとまだまだ。 ・読み聞かせするとまだまだ。 と思います。
- ・子どもと一緒に本屋で本を選ぶ時間が楽しかったです。
- ・物語に対して感情を投げかけ共感する娘の姿を見ることができてよかったです。
- ・ 本は、知識を夢ぶだけでなくコミュニケーションをはかる手段にもなるのだと感じました。
- 楽しんで取り組んでいる。姿を見ることができて、大変よかったと思います。
- ・一年生の頃より上手に登読ができており、学校での登読練習の成果が出ていることを感じました。

うども:本の感想文より

3年生

- ・2年生の時に暫たんけんで見たミニチュア展の作品の本に出会えて嬉しかったです。(「くみたて」)
- ぼくはハンドボールをしているので、この素を読んでもっと上望になりたいと思いました。

(「部活で活躍できるハンドボール」)

- どうして戦争が起きてしまうのかと思いました。戦争がなくなってほしいです。(「すいかの糧」)
- ずっと嘘をついているとだれも管じてもらえなくなることが分かりました。(「嘘っきの芋飼いとオオカミ」)

お家の方:ファミリー読書の感想より

(「ふしぎなのんびり号」)

- 家族で過ごす時間のやに、読書があるのはとてもよいことだと思いました。
- ・一緒に其意したり、愛い着ったりしながら読むことができ、愛しい時間になりました。
- ・読んだあとに登場人物について話し合うと、「ファミリー読書が楽しくなってきた!」 と言ってくれて 違しく思いました。
- 予どもが読む本を欠しぶりに読むととてもでいったです。また一緒に読書する時間を設けたいです。
- 予どもがどんな本に関心があるのかを知ることができ、食い散り組みだと思います。
- ファミリー読書がきっかけで茶を読むことが好きになったようです。楽しい時間を共有できました。
- ・普段から物知りなのは、こんな風に本を読んで知識を得ているからだと思いました。